

<今朝の聖書から>

村上定幸

【B面】一昔前には、45回転のドーナツ盤といわれるレコードがありました。団塊の世代にはジュークボックスという言葉も懐かしいかもしれません。A面には大事な方の曲が録音され、B面にはヒットするかどうか分からない曲や歌手の曲が録音されていました。しかしB面のないレコードなんてありませんでした。

【歴史のB面】創世記にはいろいろな人たちが登場しますが、神様の恵が歴史として貫かれています。その中にはB面のような存在も沢山出てきます。アベルとカインの物語や、バベルの塔の物語など、今の私たちにも十分理解できる、罪の姿といてよい出来事が記されています。描かれている歴史は、人の経験する多くの悲しみの姿もとどめているようです。

【エサウ】イサクとリベカの双子の兄がエサウです。野で狩りをするのが得意で、賢くて、父イサクはこの兄のエサウを好んだようです。ところが、母のリベカはヤコブを好みました。当時のことですから、長男と二男のあり方はずいぶんと違うものでした。“長子の特権”という言葉で聖書は説明しています。“ああ、もう死にそうだ。長子の権利などどうでもよい”とエサウが答えると、ヤコブは言った。「では、今すぐ誓ってください。」エサウは誓い、長子の権利をヤコブに譲ってしまった(創世記 25:32-33)”とある箇所を覚えている人も多いと思います。この後、このことが歴史の中心の役割を果たしてゆくこととなります。新約聖書では、パウロがこのことを、神の選びという言葉で説明しています。“善いことも悪いこともしていないのに、「兄は弟に仕えるであろう」とリベカに告げられました。それは、自由な選びによる神の計画が人の行いにはよらず、お召しになる方によって進められるためでした(ロマ書 9:11-12)”がその箇所です。

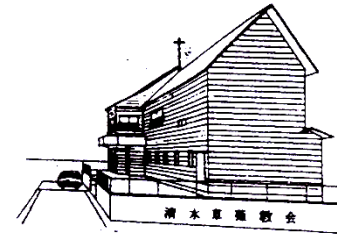
【しかし】本当に疲れきっていたら、“権威など”という考えも分かるような気がしますし、一時の利益のために、こんなことをよく行うような気がします。私たちは、心の中で自分を嘆き“今更、解決できないが、あのことさえなかったら”とか、“彼さえいなかったら”などと思ったりしてしまい、大きな犯罪にもつながるようなことを見聞きします。

【心の傷】今朝の箇所は、勝手に結婚してしまった、エサウのことが、何とも解決できない、しかし、心の悲しみになり続ける、イサクとリベカの重石になったという箇所です。エサウの中心人物でもなくそんなに沢山のことを聖書は語りません。けれど歴史の重要人物です。

【イエス様のことば】“休ませてあげよう(マタイ 11:28)”と仰っています。益に結びつかない苦難から離れなさい、そのような物に押しつぶされてはいけない、今行うべきこと、益になるべき“あなたの務め”を、私と一緒に担いなさい、と仰っているのです。拭いきれないように思える悩みの全てを捨て去り、益になるなすべき務めを神様から頂きましょう。

週報

2011年 9月 11日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042